

日本映像民俗学の会 第38回大会 in TOKYO

海域の植民地、その映像と記録

国策映画「北進日本」と「海の生命線」が語るもの



主催 日本映像民俗学の会 共催 法政大学沖縄文化研究所

法政大学 市ヶ谷キャンパス

2016年3月26日(土) 外濠校舎 S305 教室

2016年3月27日(日) ポアソナード・タワー 26階 スカイホール

日本映像民俗学の会 第38回研究大会 in TOKYO

海域の植民地、その映像と記録

国策映画「北進日本」と「海の生命線」が語るもの

主催 日本映像民俗学の会

共催 法政大学沖縄文化研究所

日時 2016年3月26日(土)～3月27日(日)

法政大学 市ヶ谷キャンパス

2016年3月26日(土) 外濠校舎 S305 教室

2016年3月27日(日) ボアソナード・タワー 26階 スカイホール

大会参加費(2日間) 1,000円 (学生:500円)

一般公開 参加自由

<研究大会テーマ>

海域の植民地、その映像と記録

国策映画「北進日本」と「海の生命線」が語るもの

2016年3月26日(土)

10:00

開会あいさつ

北村皆雄 映像民俗学の会代表

第1部 海域と植民地：沖縄と台湾

10:00～

研究大会テーマの趣旨

亘 純吉 駒沢女子大学 教授

『Japan -日本- (タイトル不詳)』(制作年・制作会社不詳) 10min.

10:40～

『海の民 -沖縄島物語』 1940 30min. 東亜發聲映画

後田多 敦 神奈川大学 准教授

<昼休み>

13:00～

台湾を記録した国策映画

紀 旭峰 早稲田大学 台湾研究所 准教授

『南進台湾～国策記録映画』 1939 64min. 台湾総督府後援 実業時代社・財界之日本社
(50min. に短縮)

『国民道場』 (製作年代不明) 11min. 台湾総督府製作

第2部 会員作品発表

特集 南の海と生活

14:45～

『光と風と！幻の漂海民—フィリピン・スルー海』1987 45min

北村皆雄 映像作家 ヴィジュアルフォークロア

15:55～

『不漁時ハラン(供物奉納儀礼)』2007 23min

<フィリピン ビサイヤ海 バンタヤン島 1993年の記録>

牛島 巖 本会 前代表, 筑波大学 名誉教授

16:20～

『アラヨの歌』2006 17min アンドル・リモンド

<台湾原住民で海洋民・ヤミ族の老夫婦の最初の漁と儀礼をとたえた作品>

解説 乾 尚彦 学習院女子大学 教授

【参考映像】

16:50～

『極北への旅』 1917-18 サカリ・パルシ

<フィンランド人の東洋学者で作家でもあったサカリ・パルシが年に撮影した
カムチャツカ・ベーリング海沿岸の記録映像>

解説 岡田一男 東京シネマ新社 プロデューサー

17:20

閉会

懇親会

18:00～20:00 市ヶ谷「おかつてや」

2016年3月27日(日)

第3部 海域の植民地

10:00～ 異文化のイメージ —国策映画とオリエンタリズム—

亘 純吉 駒沢女子大学 教授

『海の生命線 —我が南洋群島—』1933 72min. 横濱シネマ商会 提供：毎日映画社

11:40～12:15 小学校地理映画大系『南洋諸島』 10min

佐藤知条 湖北短期大学 講師

<昼休み>

13:15～

『北進日本』について

崔吉城 東亜大学 教授 広島大学名誉教授

『北進日本』 98min. 1934 横濱シネマ商会

<休憩>

15:20～16:50

フォーラム 海域の植民地、その映像と記録

<司会> 崔吉城 東亜大学 教授 広島大学名誉教授

牛島 巖 佐藤知条 北村皆雄 後田多 敦 紀 旭峰 亘 純吉

17:00

閉会

一般社団法人日本映像民俗学の会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-12-12 オスカカテリーナ3F

事務局メール：info@jefs.org 電話：03-3352-2291 FAX：03-3352-2293